



第3図 第1図に同じ。但し、1978年10月24日00Z、細破線は乾燥断熱線。

ける T_e は 10°C を示し、490~440 mb の安定層と符合し、かつこれより上層では大気は乾燥している。

つぎに 500 mb の風向を見てみよう。23日00Zから24日00Zにかけて風向は 275° , 265° , 250° と反時計回りに回転しており、上層の弱いトラフが接近していることを示唆している。

これらの事実から、絹雲（上層のトラフを示す）の接近に伴って、じょう乱の頭をおさえている安定層の高さが次第に高くなり、それにつれて下層のじょう乱の鉛直規模が大きくなっていく様子が分る。

（注）ここに示している雲頂温度は、23ライン×45ピクセルのサンプル（約 100 km 四方の範囲）よりモード法によって決定した値である。

日本気象学会関西支部第4回夏季大学 「新しい気象学」教室—大気のうず—受講生募集

主 催 日本気象学会関西支部

後 援 大阪管区气象台、大阪府教育委員会、大阪市教育委員会、京都府教育委員会、兵庫県教育委員会

期 日 昭和57年8月3日10時～8月5日15時45分

場 所 大阪市東区森ノ宮 大阪市立労働会館
（環状線 森ノ宮、地下鉄中央線 森ノ宮下車徒歩5分）

申込方法 年齢・職業・自宅住所・勤務先住所ならびに所属学会等を明記し、受講料をそえて申し込んで下さい。受付後受講票をお送りします。

受講料 3,500円

（郵便振替の場合、口座番号大阪18318 日本気象学会関西支部）

申込先 〒540 大阪市東区法円坂6-25大阪合同庁舎第2号館 大阪管区气象台内 日本気象学会関西支部

Tel. (06) 941-0341

申込期限 昭和57年7月15日

月 日	午前(10:00～12:00)	午後(13:00～15:45)
8月3日 (火)	低層大気の流れ 水間 満郎 (京都大学原 子炉実験所)	局 地 気 象 田中 勝 (大阪管区气象台)
8月4日 (水)	渦 巻 一たつ巻から 台風まで— 文字 信貴 (京都大学防災研究所)	実習—高層解析— 竹内 勤 (大阪管区气象台)
8月5日 (木)	集 中 豪 雨 中島暢太郎 (京都大学防災研究所)	気 象 衛 星 —画像の見方— 山田 隆之 (大阪管区气象台)

※定員に達した場合、お断りする事もあります。